

森林吸収源計測・活用体制整備強化事業

平成 15 年度～22 年度（独立行政法人 森林総合研究所再委託）

堀部領一・野々田稔郎・島田博匡

近年、温室効果ガスの吸排出量への関心が高まるとともに、京都議定書等との関係から、森林の炭素吸収量を明確にする必要が生じてきている。森林における地上部バイオマス、地下部バイオマス、土壌に含まれる炭素貯留量、枯死木とリターに含まれる炭素貯留量を報告する必要がある。このため、京都議定書の求めるレベルでの算定を行うための基礎資料を得ることを目的に、(独)森林総合研究所からの再委託を受け調査を実施した。なお、本事業は全国規模で行われている調査事業である。

1. 調査項目

県内 6 カ所の調査地を調査グレード 1(4 箇所)、調査グレード 2(2 箇所)に分け、調査を実施した。調査項目は、①調査地概要調査（斜面方位、代表植生等）、②枯死木調査（プロット内の枯死木本数、直径等）、③堆積有機物調査（プロット内 4 箇所 (0.25 m²) の林床堆積有機物量等）、④土壌調査（堆積有機物量調査と同一地点において、地表から 40 cm 深までの土壌断面調査及び土壌サンプル採取）、⑤代表土壌断面調査（プロット内 1 カ所において、地表から深さ 1 m までの土壌断面調査及び土壌サンプル採取）の 5 項目であり、調査グレード 1 では調査項目の全て、調査グレード 2 では調査項目の①～④を実施した。

2. 調査の状況

以下の箇所について調査を実施し、再委託元へ報告を行った。

調査ID	調査地の所在地	調査グレード	備考
240100	多気郡大台町滝谷地内	1	広葉樹林 基岩露出により調査項目④は2箇所のみ実施
240120	多気郡大台町桧原地内	2	広葉樹林 基岩露出により調査項目④は3箇所のみ実施
240140	多気郡大台町南地内	2	スギ人工林
240160	多気郡大台町小切畑地内	1	ヒノキ人工林
240220	度会郡南伊勢町古和浦地内	1	常緑広葉樹林
240225	多気郡多気町色太地内	1	ヒノキ人工林